

# 「家がいいね」 第114号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2013. 11. 11

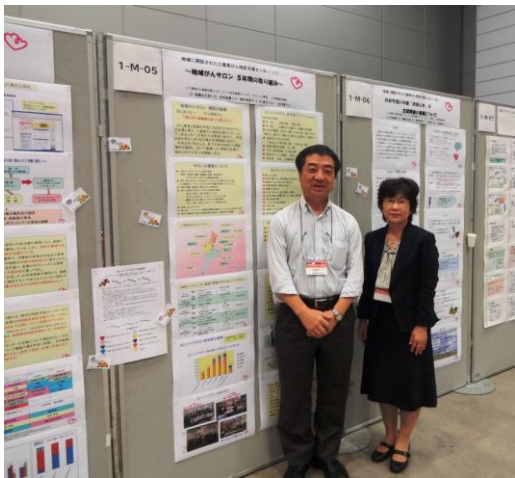
**亡くなっても温かいんだね**

在宅で最期を迎えた時に何度か、この言葉をお聞きします。息を引き取っても、温かな身体がそこにあります。心情ではなく、事実なのです。死は途切れることではなく、時をつないで行く中での旅立ちだと思えます。「さようなら」「ありがとう」が自然に交わされるのを願います。



**出雲の国を旅しました**

旧暦の10月（神無月）の今は、出雲では神在月。松江の「死の臨床研究会」で発表してきました。三重県がん相談支援センターの5年・がんサロンの5年・分かち合いの会「おあしす」の3年の、ポスター3題を報告した後の写真です。意見交換も沢山できました。松江は水の都。日曜の朝に何艘もボートが練習します。私は、60年に一度の遷宮で賑わ



た後の写真です。意見交換も沢山できました。松江は水の都。日曜の朝に何艘もボートが練習します。私は、60年に一度の遷宮で賑わ

う出雲大社に足を延ばしました。出雲神話も勉強してみました。古代は日本海側こそ表玄関。覆い隠された王朝の歴史がここに根付いています。伊勢と表裏の不思議な関係です。



大國主神の物語を含め古事記の神々は誠に血なまぐさい逸話が多い。殺されもするが、その遺骸から作物が生じるなど別の意味で再生もする。20年毎の遷宮で常若の考え以上にダイナミックな生死が展開される世界です。



**やっぱり言わずにはおれないこと**

保健所から「**特定記録**」の赤判が押された封書が届いてビックリしました。何のことはない書類の不備の指摘でした。11月末までの健康診断も「**特定健診**」と命名されている。特定って何？と辞書を引くと「特にそれと指定する」とあるが、連日の新聞で報じられる「**特定秘密保護法案**」も、この**特定**が光っている。特集で法案全文が掲載されているが、何と36か所も「**その他**」の文字が散りばめられている。それじゃあ「特にそれと指令できない**不特定**」の**秘密**が対象になりますよね。この胡散臭い法案は、ねじれも無い現在、どうも採決を強行するらしい。何やら空恐ろしい予感がします。



剥がさず町中に貼ってあるポスターの主語は「自民党」だが実質は「**ABE**」だと誇示しているように見えます。多くの異見が押し潰されている現状は、後世に独裁の時代と言われると危惧します。文句も言えなくなつては遅いのですが。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
メール [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)  
ホームページ <http://isezaitaku.com>